

審査員からのコメント

瀬戸内海プラスチック問題に対する害虫応用型分解技術の可能性～環境負荷低減を目指して～

本研究では、環境にやさしい新たなプラスチックの処理方法の一つとして、発泡スチロールをハチノスツヅリガの幼虫に食べさせることができるかどうかの検証が行われた。評価した点は、海岸の清掃活動という実際の現場での活動から感じた問題の解決を試みた点、ハチノスツヅリガという世界中に生息する汎用性の高い昆虫を試料として選択した点、図表や文字の大きさ、配置が適切である点、先行研究を引用している点である。改善点としては、実際にハチノスツヅリガの幼虫が発泡スチロールを食している様子や幼虫を入れる前後で発泡スチロールの表面がどのように変化したかが分かる写真を載せるとよりイメージしやすくなると思った。また引用する際は、全ての引用元ごとに文章中のどこに関連しているかを示すと読みやすくなる。最後に、課題と展望において今回の実験を通じて次はどのような実験を行うべきか明確に述べられていたため今後の研究に期待する。

